

目 次

巻頭言.....	1
経済研究所長 大友 敏明	
I. 公開講演会・シンポジウム開催報告	
公開講演会「公認会計士への道」	2
◇大川 央倫 (2016年試験合格者)	
◇小林 尚明 (公認会計士・広報委員会専門研究員)	
◇山田 浩一 (公認会計士・立教公認会計士会会長)	
国際シンポジウム「災害復興政策と都市・地域のレジリエンス」	3
◇大友 敏明 (本学経済研究所長)	
「開会の挨拶」	
◇山本 大策 (アメリカ・コルゲート大学)	
「レジリエンス政策にだまされない地域」	
◇王 群智 (中国・西南交通大学)	
「災害復興における物流とマテリアルハンドリングの役割」	
◇佐野 孝治 (日本・福島大学)	
「タイ大洪水からのレジリエントな復興政策」	
◇朱 哲 (中国・広東石油化工学院)	
「中国における環境保護政策が都市発展に及ぼす影響」	
◇楊 禾 (中国・四川大学芸術教育センター)	
「被災地の音楽文化遺産の保護と伝承—大学音楽教育の実践」	
◇藤本 典嗣 (日本・東洋大学)	
「避難区域を縮小させる日本の原子力復興政策—マクロバランスの国際比較」	
第5回学術研究大会「ヨーロッパの統合と分化—ドイツ・フランス・イギリス」	46
◇大友 敏明 (本学経済研究所長)	
「開会の挨拶」	
◇菊池 雄太 (本学経済学部准教授)	
「ヨーロッパの中のドイツをめぐって—ドイツ経済史研究の一視座—」	
◇中島 俊克 (本学経済学部教授)	
「ジャン・モネの生涯と欧州経済統合」	
◇福島 清彦 (元本学経済学部教授)	
「転機を迎えた欧州統合と経済政策の展望」	

Ⅱ．プロジェクト研究

1) 理論：

①「市場主義」経済学のオルタナティブ……………83

荒川 章義（本学経済学部教授）

②資本と信用

黒木 龍三（本学経済学部教授）

2) 歴史：

20世紀東アジアにおける経済基盤の形成 ……………89

岡部 桂史（本学経済学部准教授）

3) 国際政策：

①スマート・コミュニティの政治経済学：

分散ネットワーク型経済社会への政策課題……………92

櫻井 公人（本学経済学部教授）

②公害対策及び環境福祉対策が疾患・人口移動・地域階層化に与えた影響：

実証研究の実現可能性の検証

安藤 道人（本学経済学部准教授）

2017年度 研究員の受入 …………… 100